事業番号	08 04 03	事業改善シート(24年度実施事業分)		予算要求 🗆]予算案 ■点検	
事業名		果樹産地整備促進事業費	担当	部局	農政部	
尹 未 乜		未倒连地雀哺促连手来有		課·室	園芸畜産課	
<参考>	プロジェクト		課	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年 計画	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業				
	旭界の総合印度所	2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産	Dilly	実施期間	H16 ∼ H24	

1 声类の無声

争未の似安																
目扌	旨す	姿 4	生産・流通コストの低減や高品質で付加価値の高い果実の生産供給体制の確立や契約取引を推進し、果実の生産を拡大する。													
Į	見状		実需者から付加価値をつけた出荷形態への要望が増加しているため、共同利用施設の整備が求められている。													
	が関. 5理(与 由 	□法令等義務 □内部管理 ■県でなければ実施不可 【左記の説明、根拠法令等】 □民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 □その他() 場を経由する国の補助事業のため 強い農業づくり交付金実施要領等													
			① 成果目標(H24) 共同利用施設の整備 1カ所													
		2) 事業内容												(単位	允:千円)
			佰	Ħ	-	実施方法)±:		LI	24事業実績			H24 H25			
			項目				旭刀伍						(当初)	(決算	章)	(当初)
			果樹共同利用施設整備				農産物処理加工施設、集出荷施設の整備						25,09	94 60	4,500	
事美	美内 :	容	〈補正〉果樹共同	整備	補助金	集出荷:	集出荷施設の整備						()	5繰越 9,250)		
			野菜共同利用	施設整備	1	補助金	か金 育苗施設の整備等									100,094
											合計	†	25,09	94 60	4,500	100,094
	ত		() () () () () () () () () ()	00年亩	004	- re	0.4年由	05年亩	l		ct	· 8 8 4	海の法式	4:0		
区分(単位:千円) 22年度 23年度 24年度 25年度 前年度繰越 0 352,200 611,000 283,044								成果目標の達成状況 現況 H 2 4				トル H24		H25		
予			当初予算	714,592		7,188	25,094	100,094	項目	(見:		目標	成果	達成状況	目標	
事	算 額		補正予算 0 663,500 258,500 0			ルロな! 田井寺 の事/#		-,-		0.3 ===	\+. I\					
業	四只		合計(A)	714,592	1,072		894,594	383,138		共同利用施設の整備	備 0カ	PIT	1カ所	2カ所	達成	1カ所
*		围	庫支出金	714,374	1,072	2,694	894,547	383,091		〈補正〉	0カ	所	1カ所	1カ所	達成	

	_	_					
	1		前年度繰越	0	352,200	611,000	283,044
	予算		当初予算	714,592	57,188	25,094	100,094
事	額		補正予算	0	663,500	258,500	0
業	1,0		合計(A)	714,592	1,072,888	894,594	383,138
*			国庫支出金	714,374	1,072,694	894,547	383,091
⊐	Aσ.)	県 債				
_	財派	亰	その他()				
ス		一般財源		218	194	47	47
۲	決	j	算 額(B)	3,269	381,508	604,500	
	概	算	職員数(人)	0.40	0.40	0.40	1.00
	人件		概算人件費 (C)	3,327	3,303	3,303	8,258
概算事業費(B(A)+C)				6,596	384,811	607,803	391,396
			•	<u> </u>	·	•	

成果目標の達成状況									
項目	現況		H25						
項目	(見込)	目標	成果	達成状況	目標				
共同利用施設の整備	0カ所	1カ所	2カ所	達成	1カ所				
〈補正〉 共同利用施設の整備	0カ所	1カ所	1カ所	達成					

目標に対 する成果 の状況

JAが取組む柿加工施設・乾燥包装施設整備、果樹選果施設整備の計3事業に対し国の交付金を活用し、生産・流通コストの低減や高品 質化に向けた取組みについて支援し目標を達成できた。

今後の事業の方向性

今後、事業

□ 事業を実施しない ■ 事業を見直して実施 □ 事業を現行どおり実施

事務事業の負担軽減を図るため、果樹、花き、野菜の共同利用施設整備などの国補助事業を一体化し、平成25年度から園芸産地強化対策整備事業(予算額100,094千円)として実施する。多様化する実需者からのニーズに対応し、高品質で付加価値の高い園芸産地の生産・供給体制の確立を図るため、集出荷貯蔵施設など共同利用施設の整備を支援する。